

「第 40 回 ISF 参加」

日本の靴関連見本市としては最大規模の ISF（INTERNATIONAL SHOE & LEATHERGOODS FAIR）が第 40 回目を迎え、この 4 月 13 日（火）～15 日（木）、東京・池袋のサンシャインシティ文化会館 2F・3F で開催され、当 JAFTA も実演コーナーを設けて参加した。

ISF の出展社は日本のほかドイツ、中国、台湾、メキシコ、ポルトガルなど 13 の国と地域から 180 社で、文字どおり国際見本市である。来場者は業界のバイヤー約 5,200 人、最終日には一般消費者にも開放して計 6,000 人近い来場者にのぼった。主催者はエフワークス株。



JAFTA の実演コーナーはフスウントシューインスティテュートの協力で出展したもので、理事で事務局長の大岩久恵氏とアシスタントの奥村典重さんが実演に当たった。

この実演コーナーは連日、朝の開場から夕方までほとんど休む暇もないくらい「客」が訪れ盛況だった。実数は 43 名、女性が 8 割強で 30 代、40 代のキャリアウーマンが主流だった。足の症状は開張足による胼胝

（タコ）のトラブルが目立った。男性もスポーツで爪を傷めたなど切実な悩みを抱えていた。3 日間を通じてフットケアの需要が根強くあることが確認できた。

